

Cente Technical Information

発行番号	002-0004	Rev	第1版	発行日	2010/04/02
題名	ライトプロテクト時にキャッシュへの書込みが行なえてしまう問題について				
情報分類	技術情報				
適用製品	Cente Compact FileSystem Ver1.00 ~ Ver1.01				
影響API	fopen, fputc, fputs, fwrite, rename, remove, mkdir, rmdir, q_format				
関連資料	なし				
【詳細】 キャッシュ機能有効の状態であつてもライトプロテクト状態のメディアを使用した際に、キャッシュへの書込みが行なえてしまい、書込み系API実行時にエラーにならず、書込みを行なわないAPI実行時にキャッシュの自動フラッシュが行なわれ、その時点でライトプロテクトエラーが発生する場合があります。 書込み系APIでキャッシュへの書込みが行なわれる以前にライトプロテクトフラグのチェックを行なうように修正。					
【症状】 ライトプロテクト状態であつてもキャッシュへの書込みが行なえてしまうため、書込み系API(fwrite、fputc等)実行時にエラーにならず、読み込み系API(fread、fgetc等)実行時にライトプロテクトによる書込みエラーが発生する場合があります。(キャッシュのフラッシュが行なわれるため)					
【回避方法】					
■運用での回避方法 API実行前にライトプロテクト状態を検出する処理をアプリケーション側に追加する。					
■プログラム修正による回避方法 以下のAPIに修正が必要です。 fopen()、fputc()、fputs()、fwrite()、rename()、remove()、mkdir()、rmdir()、q_format()					
修正方法につきましては、弊社サポートまでお問い合わせ下さい。					
以上					